

宇宙から見た地球の姿

【団体出展】

一般財団法人 リモート・センシング技術センター(東京都)

●どんな工作なの？

地球の周りにはたくさんの人工衛星が飛行していて、地球を観測しています。宇宙から見た地球の画像を使って地球儀を工作します。

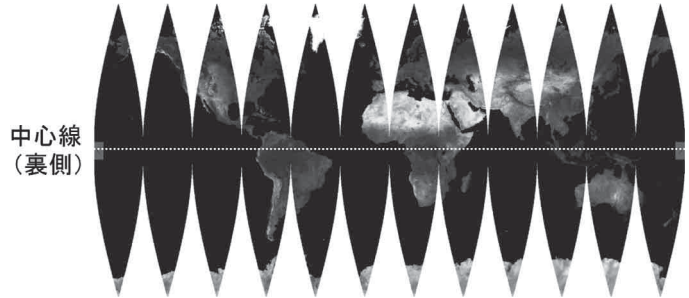


図1 地球の舟形展開図
アメリカの人工衛星データを使用

●工作のしかたとコツ

【用意するもの】

地球や惑星の舟形展開図、発泡ポリスチレン球(直径5cm)、定規

【工作のしかた】

- (1)使用する発泡ポリスチレン球の大きさにあわせて、舟形展開図を印刷します。
- (2)舟形展開図の裏側に中心線を引きます(図1)。
- (3)舟形展開図を切り抜きます。
- (4)発泡ポリスチレン球に舟形展開図を貼り付けます。
発泡ポリスチレン球の成型跡と、(2)で引いた舟形成型図の中心線を合わせると(図2)、きれいに貼ることができます(図3)。

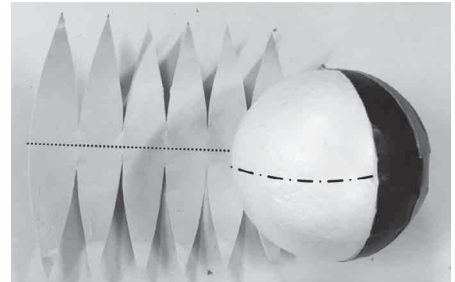


図2 発泡ポリスチレン球へ貼り付け

※調べてみよう

- (1)地球の大きさが直径5cm(会場で工作する地球儀の大きさ)だとすると、月や太陽の大きさは何cmになるでしょうか。また、他の惑星の大きさとも比べてみましょう。
- (2)人工衛星は地球からどれくらい離れて地球を観測しているでしょうか。

●気をつけよう

はさみを使うときはけがをしないように気をつけましょう。
べたべたしないよう、のりは少しずつ使いましょう。

●もっとくわしく知るために

人工衛星の仕組みを勉強したり、人工衛星が観測したデータを見たりすることができます。

一般財団法人リモート・センシング技術センター ウェブページ URL <https://www.restec.or.jp/>

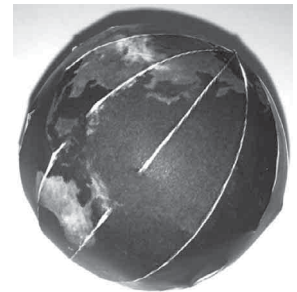


図3 地球儀完成図